



We serve

IWATA LIONS CLUB REPORT

[2022.7~2023.6]



CN65周年記念例会

国際テーマ

WE SERVE(われわれは奉仕する)

334複合地区スローガン

「^{かん}威じて臨む 変革の能動者たらん」

334ーC地区スローガン

「足元を固め 原点回帰 “We Serve”」

磐田ライオンズクラブ

スローガン

「地域と共に、地域に目を向け、地域から発信する奉仕活動へ」

努力目標

「地域の話題で、魅力あるアクティビティを、全員参加で楽しもう」

2023 6

会長挨拶

この1年間、会長という重責を皆様からお預かりしました。ひとえに感謝する思いで一杯です。皆さんの御協力あっての賜物です。ありがとうございました。また、準備委員会を含め1年を超える期間で、コロナ渦中での行動の制約を強いられていましたが、ライオンズ活動への並外れた熱い思いに頭が下がります。We Serveの理念、熱く、強く、高く掲げてのライオンズの奉仕活動です。取り組み方に頭が下がります。共に取り組む中で、連帯感が醸造されていきますし、感謝そのものです。特に1年を通じて、CN 65への取り組みが、新鮮で鮮烈で、達成感でした。理事会活動が本格的に動き始めて、待った甲斐があったね、という先輩ライオンの一言に感極まる思いでした。魅力的な提案をどうやるのか、その集約の予算等の取りまとめでは、皆さんのリーダーシップが遺憾なく発揮され、頼もしい限りでした。若い年代にお任せして良かったと感激です。しかもCN 65記念の主題を「SDGsを取り上げ」てくれたことです。ライオンズ活動自体が「SDGs活動」であることを指摘受けたことは、含蓄ある名言です。意識せずに65年経過して積み重ねたとなります。今回の65年を振り返るいい契機です。磐田ライオンズクラブでは我々一同が、その意味に確信出来ました。CN 65記念例会にはスポンサークラブ、近隣の4クラブの参加を賜り、盛大に開催されましたこと、記録に残させていただき、感謝を結びたいと思います。皆様のご協力に感謝、感謝です。



会長
L. 江間 清



幹事
L. 村松由季子

先ずはこの一年、メンバーの皆様のご協力に心より「感謝」を申し上げます。今年は「意識の変革」を求められた1年でした。世界の変化に対応するべく、我々の周辺も変化していきます。生物の世界でも、生き残れるものと淘汰されて絶滅しまうものがあるように、人のつくる集団も活性化するものも衰退してしまうものもあります。生き残る為に最も必要な事は、「変化に対して柔軟に対応出来る事」であるのは明らかです。更に、集団が活性化するために必要な事は、その集団に正しい存在意義があり、メンバーにその意義が浸透し、皆が能動的に活動する事で得られる良質な感動・達成感が共有される事だと感じました。来年度334-C地区のスローガンは、「変革への順応 未来を拓く“We Serve”の絆！」です。磐田ライオンズクラブは、集団として情報を適切に収集し、意見や力を出し合い、様々な問題が発生しても柔軟性のある対応出来る“一步前”をいくクラブである事を誇りに思います。一年間、ありがとうございました。



会計
L. 松田 智照

今年度、会計という役目を任されて、まもなく1年という期間を終えることが出来そうで、心底ホッとしています。これまで自分が見てきた会計担当の方は、理事会での落ち着いた発言はもちろん。過去の経緯や、事例に基づいた意見をきちんと出してくれていました。それを間近で見ていて、とても頼りになると感心させられました。自分を振り返ってみますと、とても理想の会計担当者像には遠く及ばなかったかと、反省しています。自分なりに精一杯務めて来ましたが、磐田ライオンズクラブの三役のひとりとしての責任。アクティビティや例会で、メンバーそれぞれが安心して奉仕活動や内容に集中できるように、立ち回らなければいけない事に気づかされた1年でもありました。気づいたのは、役目を与えて頂いたからですが、その成果を今年度中に十分発揮するまでには至らなかった事も反省です。今年度は特に多くの方の配慮と恩恵に支えられたものでした。本当にありがとうございました。



ライオン・テーマ
L. 伊藤 慎弥

誰よりも早く例会会場に駆けつけ、会場をセッティング。誰よりも早く理事会会場に駆けつけ、会場をセッティング。誰の目にも留まることなく、いや、誰の目にも留まってはいけない縁の下の力持ち。それがテーマ。例会会場である、ラトリエ・ドゥ・マリエ（出雲殿グループ）は、出雲殿に勤められている、小粥副テーマのご配慮により。私が着いた時には、ほぼ全てのセッティングが終わっているという、何ともありがたい状況。正直一年間楽しかった。小粥さん、ありがとうございました！



テール・ツイスター
L. 鈴木富二夫

ライオンズに入会して10年以上経ちますがテールツイスターは初めてでありまして、人前で読むのが苦手な私ができるかどうか心配でしたが、やれば出来るものでなんとか無事にテールツイスターの仕事をやりきることが出来ました。ドネーションを読む時には、名前・内容を間違えないようにドキドキしながら読んだものでした。会員の皆様には多くのドネーションをいただき副テールツイスターの？小岸 薫様共々本当にありがとうございました。



会員出席委員長
L. 戸塚 邦彦

委員会では会員増強を図る為、キャッチコピーである『ミッション8』を合言葉に、メンバー個々から情報を出してもらい、アプローチリストを作成し、メンバー全員で会員増強に取り組みました。また、PRパンフレットを作成し、活動を写真で紹介する事で入会の判断に役立ててもらいました。さらに退会者を出さないようメンバーの絆を深める意味でメンバー通信を発行しました。会員増強は、今後も続く事業でありますので、次年度に申し送りをしっかり行う事で、繋げて行く事が会員増強に繋がる第一歩であると思われます。



会則接待諮問委員長
L. 寺田 克元

本年度は、理事会の構成メンバーの若返り、大変良い事だと思います。しかし理事会において、発言者が数人に限られ議事進行も時間内に収まらない事が多々有り。ロバート議事法をもう少し勉強する事が必要かと思いました。今年は チャーター65周年の節目の年であり、急ごしらえ感があったが、チャーターナイト例会も無事終了する事が出来ました。また4月23日の地区大会本番に向けて22日のリハーサル等、磐田ライオンズ メンバーの結束力が増したのは、本年度最大の収穫だったと思います。



財務LCIF委員長
L. 青島 邦信

LCIFとはライオンズクラブ国際協会の公式慈善財団であり、援助、希望、癒しを世界に提供することを目的に設立された財団です。このたび、ロシアのウクライナ侵攻により多くの支援が必要となる難民・避難民が発生しており、このLCIFを通じて食料、衣類、衛生用品、寝袋、医薬品などの緊急支援物資を配付しております。今年度、当クラブにおいても委員長の私のほか、L堀内 豊、L江間 清、L村松由季子から1000ドル献金にご協力を頂きました。新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックの渦中にありまた、歴史的な円安の中でのご厚意にこの場をお借りして、心より御礼申し上げます。



大会計画委員長
L. 乗松 千代子

今年度は、委員会で企画していた8月の家族会が、コロナの感染拡大の影響で急遽中止になるという幕開け。続く12月のクリスマス研修会も、会食無しでクリスマスコンサートを楽しんでいただきました。家族会は3月に環境福祉委員会と合同で、昨年と同じいちご空中農園いわたでいちご狩りを行い、140名の方にご参加いただきました。3年に亘り猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も、やっと通常の日常生活が戻りつつあります。最後のさよなら例会は皆様に思いきり楽しんでいただこうと、委員会メンバー一同、力を合わせて頑張ります。皆様、1年間ありがとうございました。



献眼献腎献血委員長
L. 齋藤 滋子

今年度も献血、献眼登録等、多くの事業活動にご協力いただき感謝申し上げます。ヘアドネーションも20件以上発送、盲導犬の募金に関しても予想以上の額を送る事が出来ました。ありがとうございました。また、今年度は年間を通して、「糖尿病予防のための運動」を訴えてきましたが、皆様の心に少しは届いたでしょうか？参加者はきっと達成感を感じて下さっていると信じてます。健全な精神は健全な身体に宿るとか。皆様のご健康を願っています。合掌。



環境福祉委員長
L. 村松 正規

今年度は、イベントも多く大変な1年でした。ライオンズパークの草刈りは、8月の中止を除き3回行う事が出来ました。また今年度のCN65におけるSDGsと言う事で、各委員会の皆様に多大なご協力を頂きありがとうございました。楽しかった出来事としては、静岡産業大学の留学生との交流を約4年ぶりに4月第1例会にて行い、お花見等で交流を図りました。最後に地区年次大会では、表彰の運営責任者として委員会メンバー及び他のメンバーの皆様のご協力もあり、磐田ライオンズクラブとして恥ずかしくない形で終われたのは幸いでした。1年間ご協力ありがとうございました。



青少年YCEクエスト委員長
L. 村松 正浩

本年度青少年YCEクエスト委員会では、既存アクティビティの改善に注力しました。ポスターコンテストでは、アピタでの展示方法を確立し、作業が楽にかつ短時間に行える様にしました。レオクラブ事前検討プロジェクトでは団体自立の一步として予算管理を高校生達に行わせる様にしました。進展する物もありましたが、残念な結果に終わったものもあります。YCE受入は今年も中止になりました。ライオンズクエスト普及支援では、利用してくれそうな団体を幾つかヒヤリング・調査しましたが、いずれも難しいという結論になりました。目玉だった少年野球大会は受入中止になり、優勝旗作製や付随事業も取りやめました。青少年事業は継続してこそ成果が出てくるものが多いため、来年度以降も地道に改善して下さると幸いです。

アクティビティ・例会より



大池ベンチ贈呈式



家族会



CN65周年記念例会
留学生との交流



静岡産業大学での献血運動

お花見ウォークラリー 3月5日(日)



C N 65 周年記念事業のお花見ウォークラリー in うさぎ山は、募集チラシをすることから始まりました。どんなに段取りを組み準備を整えても、思い通りにならないのが参加者数、天候、桜の開花時期です。市内の交流センターの他、幼稚園でのチラシ配布が功を奏して、94名の申込みを数え、うさぎ山の河津桜はピタリ満開となりました。残すは天候だけ！ところが曇り空から雨が降る残念な状況となってしまいました。参加者だけでなく、運営を手伝ってくれるメンバーにも申し訳なく感じていたのですが、受付に来た参加者に懇切丁寧に対応してくれた姿。雨の中、嫌な顔ひとつせず各チェックポイントやコース上で参加者を楽しませてくれたこと。おかげで参加者皆さまから笑顔で「また参加したい」「楽しかった」との評価を頂くことが出来ました。これは個々のメンバーが趣旨をよく理解し、自らの想いで対応してくれた結果です。雨の中本当に有り難うございました。

会計 L.松田智照

地区年次大会 4月23日(日)



江間会長と村松幹事の代理として実行委員会に出席した時が始まりでした。それまで第69回地区年次大会の日程や磐田LCの担当すら把握していない状況でしたので、生きた心地がしませんでした。なんとか実行委員会メンバーに追いつくために資料を読み込み、把握して磐田LCメンバーに説明するまでには多くの時間が掛かり、大会当日が迫る中で要らぬ不安を与えてしまいました。後から知ったのですが、水面下でずっと調整してくれたL鈴木和男の存在。質問に対して丁寧にに対応してくれた袋井LCの出崎大会委員長と鈴木大会副委員長には、本当に感謝しかありません。また、L村松正規、L戸塚邦彦、L乗松千代子の3名のリーダーが、それぞれの役割をきちんと把握して、委員会メンバーに丁寧に指示を出してくれたおかげで、第69回地区年次大会を無事に終了することが出来ました。その時の3名の頼もしい姿を忘れることはできません。本当にありがとうございました。

会計 L.松田智照

新会員 ご挨拶



L. 木下光晴 (2022.7.28入会)

昨年の7月にライオンズクラブに入会させていただきました中部電力パワーグリッド(株)磐田営業所の木下です。大井川上流の川根で生まれ育ち、現在は島田市に住んでおります。清水、静岡、浜岡、掛川、浜松、名古屋の職場を転々としてきた転勤族です。磐田市の勤務は初めてとなります。実家は茶農家で根っからの田舎者なので地域のみなさまとの交流・活動は大好きです。献血、草刈り、お酒、スポーツと先輩の皆様方のご指導を受けながら頑張っていきたいと思いますので今後ともよろしくお願ひいたします。



L. 砂川利広 (2023.2.2入会)

この度は磐田ライオンズクラブに入会させていただきました有難うございます。磐田市長須賀で株式会社農健という米と野菜の生産販売をする会社を経営しております。61歳になりますが、今日まで田畑と自宅との往復で人生の大半を過ごしてきた社会との関わり方もよくわかっていない状態です。皆様のご指導を仰ぎながら、出来ることを精一杯やってみようと思いますので何卒宜しくお願いいたします。



L. 平野君代 (2023.2.2入会)

この度、L. 座光寺 明よりご紹介を頂き、歴史と格式あるライオンズクラブに入会させて頂きました事、感謝と身の引き締まる思いでいっぱいです。私は、保険代理店を営み、磐田市を中心に日々の営業活動を通し、お客様との繋がりを大切に活動しております。ライオンズクラブでも、奉仕を通して、地域や人とのつながりを大切に、何かしらの役にたてるよう、諸先輩方の皆様よりご指導いただきながら頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

MC委員長
L. 齊藤 伸

編集後記

振り返ってみれば、今年も新型コロナウイルスの影響に翻弄された1年でした。5月にはいよいよ感染症法による2類相当から5類感染症となり法的にもインフルエンザ並の対応となりました。これによって、自粛気味であったライオンズクラブの活動もコロナ前と同様に活発化していくであろうことを大変嬉しく感じております。1年間、ご協力ありがとうございました。そして、この1年の締めくくりとして、C N 65 周年記念事業、磐田での地区年次大会と獅子奮迅の活躍で取り仕切ったL.松田智照に心よりの称賛と感謝を捧げたいと思います。